

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2554 号

Does synchronous early head and neck cancer with esophageal cancer need treatment after preoperative chemotherapy?

食道癌に併存する早期頭頸部癌に対する術前化学療法後の追加治療の必要性について

金森 浩平 (かなもり こうへい)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、切除可能扁平上皮癌に併存する早期頭頸部癌に対する化学療法の効果を始めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。筆者は食道癌に併発することで本来行われることのない化学療法が早期頭頸部癌に施行されることに注目した。一般的に、根治治療とはならない化学療法を早期頭頸部癌に行うことで 27 例中 16 例に完全奏効が確認され、そのうち 15 例では追加治療を行わないことが選択され、頭頸部癌の局所再発は 0 例であった。完全奏効が得られなかった、または化学療法を行わなかったために手術や放射線治療を行った 22 例と比較して、予後に差を認めなかったことを示した。以上の結果から、切除可能扁平上皮癌に併存する早期頭頸部癌に対しては化学療法で完全奏効が得られた場合には追加治療を行わなくてもいい可能性が指摘された。ガイドラインなどで治療法の定まっていない領域において、治療戦略の根拠を示した論文である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。